

表3 委員会報告会（被災児童ご家族向け・被災教職員ご遺族向け）開催実績（続き）

	日時・会場	主な内容
第9回	<p>平成26年1月26日（日） 【被災教職員ご遺族向け】10:00～12:10 会場：石巻市河北総合支所2階 中会議室 【被災児童ご家族向け】13:06～19:42 会場：石巻市河北総合支所3階 大会議室</p> <p>平成26年2月9日（日） 【被災児童ご家族向け】13:07～18:52 会場：石巻市河北総合センター ビッグバン1階 集いの部屋</p>	• 第9回委員会について
報告書説明会	<p>平成26年2月23日（日） 【被災教職員ご遺族向け】10:57～12:38 会場：石巻市河北総合支所2階 中会議室 【被災児童ご家族向け】13:30～16:45 会場：石巻市河北総合支所3階 大会議室</p>	• 大川小学校事故検証報告書について

表4 資料収集状況

情報提供機関（主な内容）	資料等の件数
石巻市教育委員会 (大川小学校事故関連記録、市・市教委及び同校における事前対策に関する情報など)	648件
宮城県教育委員会 (学校防災対策、県内各校の対策状況など)	21件
文部科学省 (国における学校防災対策など)	17件
その他、情報提供にご協力いただいた主な機関・個人等： 大川小学校事故遺族（児童遺族、教職員遺族）、元・大川小学校教職員、 仙台管区気象台、宮城県警察河北警察署、石巻市消防本部、石巻市河北総合支所、 国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所、地元各報道機関、 東北大学災害科学国際研究所、東北大学大学院環境水理学研究室、 東北大学学術資源公開研究センター植物園 など	199件

表5 聴き取り調査の実施状況

聞き取り対象	延べ人数
児童・教職員遺族	83人
生存児童・教職員	11人
保護者・地域住民など	55人
市教育委員会関係者・(元)教職員など	25人
その他、学識者・有識者など	22人
計	196人

今後の調査・分析に向けた事故の全体構造整理（素案）について (事前対策及び当日の避難行動関連)

〈本整理の目的〉

今後、検証委員会として調査・分析を進めるに当たり、主に以下のような理由から、現時点で、検証対象となる事故の全体構造について整理することが必要と考えられるため、本整理を行った。

- 第1回委員会にて合意された「疑わしきは取り上げる」という視点に立ち、事故の発生・被害拡大に関与した可能性のある要因については、幅広く網羅的に検討を加えることが必要。
- 2つの作業チームで分担して調査を進める「事前対策」と「当日の避難行動」の間には構造的な関連性があるため、その関係を全体整理して認識を共有した上で分担作業を進めることが必要。
- 亡くなられた方のご遺族、行方不明児童の保護者の多くが「知りたい」と思っている疑問（「あのとき何があったのか」「なぜこんなことになったのか」など）を解明し、これに答えていくことが本検証の役割であることから、それらの「疑問」を網羅的・体系的に整理しておくことは有効。

〈検証の対象となる「事故」の定義〉

大川小学校の児童・教職員（及び近隣住民等）が、津波の来襲する前に安全な場所へ避難できず、被災したこと。

〈全体構造整理（素案）〉 ⇒次ページ

【留意事項】

この「全体構造整理（素案）」に記載した事項、及びこの素案をもとに行う討議の内容は、あくまでも、その要因が何らかの形で事故の発生・被害拡大に関与している「可能性」を指摘するものであり、事実確認に基づいた推定ではありません。

今後、事実確認により、要因としての関与が否定される場合も十分に考えられますので、それを前提に情報を取り扱ってください。

事故の全体構造整理（素案）

